

## 【TERAQOL(テラクオール)の Beauty Wave 量子加工を行った CBD オイルと未加工

### CBD オイルの親和性、浸透性比較試験】

#### 【試験方法】

- ①Beauty Wave 量子加工を行った CBD オイル、未加工 CBD オイルを未加工のおよそ同量の水道水をいれたビーカーの中に同量のオイルをいれて親和性を確認。
- ②その後、ビーカーを振り、水との親和性を確認。試験の様子動画はこちらからご覧いただけます。 <https://youtu.be/6VTPusgxE4s>
- ③段ボールにそれぞれのオイルを同量たらし、浸透具合を確認。

上の動画から写真を切り出したもので説明。

- ①TERAQOL(テラクオール)の Beauty Wave 量子加工を行った CBD オイルと未加工 CBD オイル



ビーカーに未加工の水道水が入れてあります。ここにそれぞれのオイルを入れ、親和性を確認。

未加工 CBD オイルは、上部にオイルが浮き、この CBD オイルの色である黄色みがかかった層があるのが分かります。Beauty Wave 量子加工を行った CBD オイルはさっと水にも馴染みます。



②ビーカーを振り、水との親和性を確認しました。このように、時間が経過しても乳化状態を維持しています。



③段ボールにそれぞれのオイルを同量たらし、浸透具合を確認した試験ではこのように、未加工は表面にオイルが溜まり、浸透が弱く、Beauty Wave 加工を施したオイルは浸透をしています。



【結果】乳化に優れる。水とも乳化する。時間が経ってもこの乳化を維持している。浸透性が向上している。水分子、オイル分子も低分子化する。オイル自体を活性化する。オイルの酸化、劣化を防ぐ。

【まとめ】親和性が高く、浸透性が良いということはそれだけ体への吸収がスムーズになることを裏付けており、同時に、TERAQOL の量子波は成分自体を活性化する為、製品のポテンシャルが向上します。また、TERAQOL はオイルの酸化劣化を防ぐことができるため、CBD製品を良いコンディションで保つことができます。